

しまねいきいねっと

(公財)ふるさと島根定住財団
(しまね県民活動支援センター)
<http://www.teiju.or.jp/>

2016
8月号 Vol.100



今月の見どころ

P1. 新コーナー「地活っちゃんがいく！」
～夏にぴったり！こだわりギフト特集～

P2. NPO 法人事務局セミナーのお知らせ

P3. 助成金・イベント情報

P4. 島根で頑張る人 特別寄稿
(公財)ふるさと島根定住財団 藤原義光

★祝！創刊100号★

平成20年4月からスタートした地域づくり・NPO活動団体情報誌「しまねいきいねっと」は、おかげさまで創刊100号を迎えることができました！これまで支えてくださった多くの方に、心より感謝申し上げます。今後もみなさまに役立つ情報と、島根の魅力を発信していきますので、引き続きよろしくお願ひいたします。

また、100号を迎えるにあたり、紙面をリニューアルしました。新コーナー「地活っちゃんがいく！」では、地域や団体のさまざまな活動に焦点を当て、知って得する・見て楽しむ・行ってみたくなる情報をお届けしていきます。助成金やイベント情報、頑張る人のコーナーも、引き続きよろしくお願ひします！



地域活動支援課のシンボルマーク「地活っちゃん」は、地域活動を「〇(オウ)」「〇(エン)」します！



第1回

～夏にぴったり！こだわりギフト特集～

梅雨が明けると、いよいよ本格的な夏の始まり。どうやら今年は“史上最も暑い夏になる”という噂も…そんな夏にぴったりの、こだわり商品をご紹介します！いつもお世話になっているあの人に、日頃の感謝の気持ちを伝えてみませんか？



[内容量]玄米麺 6食 (100g)
あごだしそうめんつゆ (250ml)
[本体価格]3,000円 (税込)
※別途送料がかかります

宮内舎「玄米麺」(雲南市)

耕作放棄地を再生し、安心安全な食を届けたいという思いから、雲南市の小さな集落で生まれた玄米麺。地元農家の減農薬米を使用した完全グルテンフリーの麺は、小麦アレルギーの方でも安心して食べられる。モチモチとした食感とつるつるとしたのどごしは、この季節にぴったり。そんなこだわりの玄米麺を、奥出雲町の『森田醤油』と一緒にギフトセットでお届けします。*ギフトセットの申し込みはHP内e-mailかFAXにて。用紙は下記Facebookページからダウンロード(通常商品はHPから購入可⇒『宮内舎』で検索)

<https://www.facebook.com/miyauchiya/?fref=ts>

宮内舎の三原さん(左)と小倉さん(右)
定住財団の地域づくり活動体験事業、平成26年度第1回地域づくり応援助成金を活用



ラムネ MILK 堂 「食べるお茶アイス」 6個セット(飯南町)

海と山のコラボアイスでおなじみのラムネ MILK 堂から、雲南市・明治元年創業の藤原茶問屋とコラボしたアイスが登場！全種類食べ比べてみるのもいいかも？！TEL:0854-72-1720(道の駅とんぼら内)[本体価格]1,950円(税込)※今なら送料込で2,900円



NPO 法人美又ゆめ エイト「黒大蛇」 720ml(浜田市)

全国的にも珍しい黒米焼酎は金城町産の黒米を使用。アルコール度数は35度、ロックで飲むのがお勧めだとか。ツウなあの人に贈ってみてはいかが？TEL:0855-42-1551[本体価格]3,000円(税込)※別途送料 平成25年第2回地域づくり応援助成金採択団体



NPO 法人隠岐しおさい 「さざえ混ぜごはんの もと」(隠岐の島町)

津戸の大きくてやわらかい大森活サザエを使用した具だくさんの混ぜご飯は絶品！食欲のない日でも箸が進むこと間違いなし。TEL:08512-6-2911[本体価格]700円(税込)※別途送料 平成22年度第1回地域活性化支援事業採択団体

NPO法人事務局セミナー

第1回の様子
&
第2回予告

●第1回事務局セミナーを開催しました

7月5日(火)(東部)、6日(水)(西部)に第1回事務局セミナーを開催しました。講師には特定非営利活動法人岡山NPOセンター 加藤彰子氏をお迎えし、併せて48名の方にご参加いただきました!

午前の「定款・登記手続き」の講義は、分かっているようで意外に知らない定款の読み方や、ちょっと面倒だけど大切な登記手続きについて。午後の「雇用・給与計算」の講義では、雇用契約やマイナンバー、社会保険に関する事務のポイントや、給与計算について、実際に計算しながら学びました。

参加者の感想(アンケートから)

- ・これまで学ぶ場がなかったので、こういったセミナーはありがたい。
- ・初心者には少し難しい部分もあったが、とても勉強になった。
- ・実際に手を動かすことで、理解できていなかった点が明確になったので良かった。など



●第2回事務局セミナー開催!!

8月30日(火)(東部)、31日(水)(西部)は第2回事務局セミナーを開催します! 今度のテーマは、多くの方が悩まれる「NPO会計」(午前)、「決算事務・所轄庁手続き」(午後)。「専門的で難しい」というイメージがありますが、活動の基礎となるととても大切な部分です。実際に計算をしながら学ぶので、毎年「分かりやすい」と好評をいただいております。大人気のセミナーですが、まだ席には若干余裕があります。この機会にぜひ、ご参加ください!

【日時】東部: 8月30日(火) 西部: 8月31日(水)

【内容】午前の部 9:30~12:30 (NPO会計)

午後の部 13:30~16:30 (決算事務・所轄庁手続き)

【場所】東部: 松江市市民活動センター 201・202研修室(松江市白潟本町43 スティックビル2階)

西部: いわみぶらっと 会議室1・2(浜田市相生町1391-8 シティパルク浜田2階)

【お持ちいただくもの】筆記用具、電卓 ※午前・午後とも参加される方は各自昼食をご用意ください。

【お申込み・お問合せ先】(公財)ふるさと島根定住財団 地域活動支援課 黒澤・塩冶・森山 (TEL:0852-28-0690)

県内各地で県民いきいき活動が広がっています! ~しまね社会貢献基金による今年度の活動支援~

◆団体活動支援事業

事業名	活動主体	支援金(助成金額)
「どこでもバスブック松江」作成	NPO法人プロジェクトゆうあい	110,000円
冒険の森てんぱプロジェクト	里山笑楽校	570,000円
和室をリフレッシュ	NPO法人コミュニティサポートいずも	45,360円

寄附者設定テーマ事業の第2次募集を開始しました。ぜひご応募ください!

◆寄附者設定テーマ事業

テーマ	寄附者	支援件数/金額	採択団体
島根の自然環境保全	株式会社伊藤園	1件/300,000円	おおたの自然を守る会
子どもの健全育成	個人(匿名)	1件/500,000円	NPO法人YCスタジオ



◆協働モデル事業

事業名	採択団体	行政担当課	支援金
県民との協働推進	NPO法人おやこ劇場松江センター 認定NPO法人緑と水の連絡会議 ガキ大将要請委員会	県青少年家庭課	200,000円
	NPO法人Gassho NPO法人祭プラス	県産業振興課	200,000円
鳥取・島根広域連携協働	認定NPO法人自然再生センター 社会福祉法人養和会F&Y境港	鳥取県水・大気環境課 県環境政策課	400,000円



平成 28 年度 第 31 回社会福祉助成金

- 締切日：7月29日（金）必着
- 助成金額：総額700万円以内、1件あたり60万円が限度
- 対象事業：障がい者の福祉向上案件、および難病案件、虐待防止案件を対象とする
- 対象期間：平成29年3月末までに終了予定の単年度事業
- 問合せ先：一般財団法人財松翁会
TEL：03-3201-3225
<https://www.shimane-ikiiki.jp/subsidies/3400>



Panasonic NPO サポートファンド 2016年募集【環境分野】

- 締切日：7月29日（金）必着
- 助成金額：上限200万円（内容によっては上限100万円）
- 対象：環境問題に取り組み、強い市民社会の創造を目指すNPO/NGO
- 問合せ先：特定非営利活動法人地球と未来の環境基金（EFF）
Panasonic NPO サポートファンド【環境分野】協働事務局
（担当：美濃部・木村）
TEL：03-5298-6644 FAX：03-3255-2202
<https://www.shimane-ikiiki.jp/subsidies/3418>



Panasonic NPO サポートファンド 2016年募集【子ども分野】

- 締切日：7月29日（金）必着
- 助成金額：上限200万円（内容によっては上限100万円）
- 対象：子どもの健やかな育ちを応援する新しい社会の創造を目指し先駆的な活動と自己変革に挑戦するNPO/NGO
- 問合せ先：特定非営利活動法人市民社会創造ファンド
Panasonic NPO サポートファンド【子ども分野】協働事務局
（担当：坂本・武藤）
TEL：03-5623-5055 FAX：03-5623-5057
<https://www.shimane-ikiiki.jp/subsidies/3418>



公益社団法人日本ユネスコ協会 連盟プロジェクト未来遺産2016

- 締切日：7月29日（金）当日消印有効
- 対象：①市民が主体となって地域の文化を守り継承するプロジェクト②市民が主体となって自然を守り継承するプロジェクト③自然災害からの自然・文化の復興をテーマとするプロジェクト
- 問合せ先：公益社団法人日本ユネスコ協会連盟事務局内未来遺産運動事務局
TEL：03-5424-1121 FAX：03-5424-1126
<https://www.shimane-ikiiki.jp/subsidies/3420>



第 51 回 「NHK 障害福祉賞」作品募集

- 締切日：7月31日（日）当日消印有効
- 対象：1)障害のある方ご本人、2)障害のある方とともに歩んでいる方、以上2部門で文章による体験記録を募集
- 内容：最優秀1編（賞金50万円）、優秀各部門から2編（賞金20万円）、佳作各部門から若干（賞金5万円）、矢野賞全作品から1編（賞金20万円）
- 問合せ先：NHK 厚生文化事業団「障害福祉賞」係
TEL：03-3476-5955 FAX：03-3476-5956
<https://www.shimane-ikiiki.jp/subsidies/3396>



平成 28 年度 電動車椅子贈呈事業

- 締切日：7月31日（日）当日消印有効
- 対象：社会福祉法人が運営する障害児者福祉施設
- 内容：1) 贈呈車種：標準タイプの電動車椅子（ジョイスティック操作型、時速4.5km）
※注 オーダーメイド型及びハンドル操作型ではありません
2) 贈呈台数：1施設につき1台
- 問合せ先：公益財団法人みずほ福祉助成団体事務局
TEL：03-3596-5633 FAX：03-3597-2137
<https://www.shimane-ikiiki.jp/subsidies/3412>



天神川の水草を刈る 水質調査・生き物の観察会

- 日時：7月26日（火）8:30~10:30
- 集合：天神橋北詰め（タテ町鞆庫裏）
- 講師：桑原 弘道氏
- 参加費：無料
- 申込み：要申込み ※7月22日（金）午前中までに
- 問合せ：認定NPO法人自然再生センター事務局（担当：安部）
TEL：0852-21-4882 FAX：0852-61-0900
<https://www.shimane-ikiiki.jp/events/3420>



第 14 回福祉講演会「認知症への 正しい理解と効果的な予防」

- 日時：8月7日（日）13:30~15:30（受付13:00~）
- 場所：いわみ〜る401号研究室（浜田市野原町1826-1）
- 講師：浦上 克哉氏（鳥取大学医学部 教授）
- 参加費：無料
- 申込み：不要（先着200名）
- 問合せ：特定非営利活動法人はとぼっぽ
TEL：0855-25-0160 FAX：0855-25-0155
<https://www.shimane-ikiiki.jp/events/3414>

島根で 頑張る人

～特別寄稿～

「しまねいきいきねっと」が100号となった。「県民いきいき活動促進条例」が制定された平成17年当時のことを知っている人間の一人として、「温故知新」の参考になればと願って当時の裏話を述べてみたい。

島根大学の学生を中心としたメンバーから県議会に条例制定の要望が出され、議会と執行部がその趣旨を最大限尊重する形で条例に結び付いた。「バーチャル」ではなく“なま”の行政の見地からは、荒削りで立法上の体裁は随分と修正が必要だったが、“直接民主主義”の数少ない先例となった。当時の議会は議員立法での条例制定に熱心だったことも追い風だった。(この条例のほかにも「中山間地域活性化基本条例」や「水と緑の森づくり税条例」が挙げられる)。

条例を制定するという事は予算の裏打ちをしないと単なるお飾りの宣言条例になってしまう。

「県民の地域活動」の概念には、いわゆる地域振興に止まらず、広く教育や福祉、環境保全、それを進めるボランティアなどの分野も入るわけだが、それを包括的に所管する部局は、「県民運動」や「NPO支援」を所管する「環境生活部」と、地域振興を所管する「地域振興部」だった。

平成17年度の当初予算には、両部がこの条例を推進する予算要求をしたことが予算編成作業の途中でわかった。地域振興部は(私も部長として当事者であったが)、地域振興の視点から、“実施する事業”に着目した「県

民との協働事業」で、地域活動団体の活動を支援する助成金である。規模は1事業あたり100万円までで県費10分の10であったか？

一方の環境生活部は“NPO支援”“ボランティア支援”の立場から「NPO団体の立ち上がり支援」として備品や設備などの「団体設立経費」であったと記憶する。

当時は、予算の主要事項を各部長から知事に説明する場があった。私はひととおり要求事業の内容を説明した後に、「実は、この要求と同種の要求が環境生活部からもなされている。したがって、予算を1本化して環境生活部計上でも結構だし、NPO支援の業務を地域振興部に移管していただいてもけっこう」と言った。結果的には知事の判断として環境生活部計上で1本化した。活動支援と設立支援の2本立てだったか？(正確に覚えていない)。ただし、団体からの要求のとりまめは県内各地域の総務事務所経由で地域振興部が行なうこととした。初年度の結果は件数、金額とも大幅に予算をオーバーし、補正予算で対応した。それだけ地域に元気があった。

こうした県民との協働に係る予算はその後の財政縮減のなかで統合され、今では、ふるさと島根定住財団の地域活動支援予算が一番の主軸となった。また、当時の「NPO活動、県民活動」支援は、「しまねふれあい環境財団(昭和57年島根国体開催を契機として「ふれあい県民運動協議会」が設置され、のちに環境保全活動を活動内容に追加)」が所管していたが、平成20年にふるさと島根定住財団に統合し業務を引き継ぎ現在に至っている。奇しくも、私が“のたまった”地域振興セクションとNPO支援セクションの1本化が、ふるさと島根定住財団では実現して現在に至っている。

これからの島根の地域活動は、活動の担い手の高齢化による世代交代も



(公財)ふるさと島根定住財団
前理事長 藤原 義光

昭和23年(1948年)生まれ。1972年、島根県職員採用。総務部市町村振興室長、財政課長、健康福祉部次長、地域振興部長、教育長を経て、2010年7月からふるさと島根定住財団理事長に就任。以来6年間にわたり、「前傾姿勢、現場主義の徹底」など、常勤理事長として、財団運営の陣頭指揮を執る。2016年7月から財団顧問。

始まっている。一方では、団塊の世代が定年後の再就職から2度目の定年を迎える。この世代は青春の一時期に“世直しに共鳴した共同幻想”を持っている。残された人生を“おしゃれで凜”として地域貢献活動に割くことは世間への“最期の奉公”だ。

また、人生観やライフスタイルとして「農業・農村はカッコいい」と思い地方に移住する若い世代が、少数ながら確実に増加しつつある。こうした外からの人間をヨソモノ(外様)扱いすることなく地域に自然体で取り込む地域運営も必要である。

この「しまねいきいきねっと」がそうした風を興し、強める役割を担うことを期待したい。

県内NPO情報 H28.6.30現在

1	県内NPO法人数	全体	278
		内認定	6
		内仮認定	1
2	新設NPO法人数		0
3	解散NPO法人数		0
4	しまね社会貢献基金登録団体数		54
5	だんだん認証レベル取得団体数	全体	40
		内レベル2	28

Facebook も日々更新中！しまね県民活動支援センター(ふるさと島根定住財団)で検索♪

発行元

公益財団法人 ふるさと島根定住財団 (しまね県民活動支援センター)

【松江事務局 地域活動支援課】
〒690-0003 松江市朝日町478-18 松江テルサ3階
TEL (0852)28-0690 FAX (0852) 28-0692
E-mail: shimane@teiju.or.jp

【石見事務所】
〒697-0034 浜田市相生町1391-8 シティパルク
浜田2階 石見産業支援センター「いわみびらっと」内
TEL (0855)25-1600 FAX (0855)25-1630
E-mail: iwami@teiju.or.jp

